

資料提供	
令和6年8月22日	
担当 (担当者)	県立図書館 (佐藤・安藤)
電話	0857-26-8155

特別資料展「平安時代の物語文学―読み継がれた源氏物語と池田亀鑑―」開催と 郷土文化講演会「平安文学の人物像について―史実に相照らして―」参加者募集

今年の大河ドラマで注目を集めている「源氏物語」と平安時代の物語文学に関する特別資料展と、郷土文化講演会を開催します。特別資料展では、鳥取県現日南町出身の源氏物語研究の第一人者、池田亀鑑（いけだきかん）の業績も紹介します。

1 特別資料展について

(1) 名称：“とっとり県民の日関連行事” 令和6年度鳥取県立図書館特別資料展

「平安時代の物語文学―読み継がれた源氏物語と池田亀鑑―」展

(2) 会期：令和6年8月24日（土）から令和6年9月29日（日）まで

・休館日：8月31日（土）、9月12日（木）

・開館時間：午前9時～午後7時（土・日・月・祝日は午後5時まで）

(3) 会場：鳥取県立図書館 2階 特別資料展示室

(4) 展示内容：

受け継がれてきた物語文学、源氏物語が生みだした作品、古典文学の世界、池田亀鑑の果たした役割と源氏の未来などのテーマで関連資料を展示します。（主な展示資料：①古典文学の注釈書【源氏物語】『湖月抄』（北村季吟）、『紫家七論』（安藤為章）、【伊勢物語】『闕疑抄』（細川幽斎）、『勢語臆断』（契沖）、②池田亀鑑の小学教員時代の資料『郷土読本』（亀鑑ほか編）、③「源氏物語」の現代語訳、外国語訳などの図書資料、

④池田家旧蔵『後撰集』（藤原清輔施注証本（承安本）の伝本「鳥取本」）[館蔵] 等）

【池田亀鑑（いけだきかん）について】

源氏物語研究者（1896～1956）。鳥取県日野郡福成村大字神戸上村（現在の日南町神戸上）に生まれる。本名亀鑑（かめのり）。東大助教授、教授を歴任。文学博士。平安朝文学研究の権威であり、『校異源氏物語』全5巻（1942年）、『源氏物語大成』全8巻（1956年）をまとめるなど著書は100冊を超え、源氏物

語研究の基礎を築いた研究者として広く知られている。

(5) ホームページ：<https://www.library.pref.tottori.jp/exhibition/-6820913.html>

(6) 主催：鳥取県立図書館／後援：日南町、伯耆町教育委員会

(7) その他：「とっとり県民の日」関連行事、とっとり県民カレッジ連携講座に登録しています。

2 郷土文化講演会について

(1) 演題：「平安文学の人物像について―史実に相照らして―」

平安文学に描かれる中宮定子、藤原伊周、藤原道長などの人物について、『枕草子』『栄花物語』と
いった文学作品と史実とを合わせてお話しいただく。

(2) 講師：高橋 由記（たかはし・ゆき）氏

【略歴】

流通経済大学准教授。紫式部学術賞（'21）、関根慶子賞（'20）受賞。「栄花物語」「源氏物語」「枕草子」など多くの物語文学を素材とし日々研究を進めている。それぞれの文学作品や作家、時代背景に深い理解を有している。

- (3) 日時：令和6年9月1日（日） 午後1時から午後3時まで
- (4) 会場：鳥取県立図書館 大研修室（サテライト会場：伯耆町立溝口公民館、日南町総合文化センター）
- (5) 定員：80名（先着順。参加無料） ※オンライン視聴可能 8月23日（金）まで申込受付中
- (6) 申込方法：別添チラシ裏面の申込書持参、電話、ファクシミリ、電子メール
- (7) 手話通訳／要約筆記あり
- (8) その他：「とっとり県民の日」関連行事、とっとり県民カレッジ連携講座に登録しています。